

例会報告 Rotary



ガバナー補佐訪問・
クラブアッセンブリー

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 会長 下屋勝比古
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 幹事 塚本 直人
- 大垣共立銀行高山支店 4F
- 会報委員長 挾土 貞吉

世界に希望を生み出そう

<会長の時間>

新年度が始まりました。線状降水帯が、九州北部を中心に長く居座り、大きな被害が起きているようです。大分県日田市周辺は、ローイングのトレーナーを始めた35年前からよく通った場所です。日田市内を流れる三隈川が濁流となっているのを見ると胸が痛みます。どこにでも起きうる天災ですが、まずは、皆さんの関係者に被害が及ぶことのないように願うばかりです。



2回目の「会長の時間」は少し落ち着いているでしょうか？

先週は、緊張の極限状態でした。11時過ぎて会場に1番乗りしてから理事会が終わるまでの2時間ずっと「フワフワの雲の上に立っている」感覚でした。ほぼここで何をしたら覚えていません。理事会の後に撮った写真は、リラックスした垣内さんとは対照的な1枚となり、お守りというか思い出として大切に保存します。では、その緊張をどのように克服するか？方法はたくさん紹介されていますが、どうしたら緊張せずに物事ができるようになるか簡単な方法はないようです。スポーツの世界ではよく「不幸の黒い豚が、目の前をとおりすぎる」といわれる言い伝えがあります。現実に見たことのある選手は多くいます。本当に目の前に現れるはずはないですが、縁起を担ぐ選手が多い中、ふと眼のまえにとことこと黒い豚が歩くのです。そこで話しかけてはいけませんが、プイっとされたときに笑えた時、すべての力が、スーッと抜けて力が出るようです。

多くの大会で、緊張して力を発揮しきれなかったシーンをたくさん見てきたにもかかわらず、自分自身がその状態になってしまい、初回早々いい体験ができました。

さて、今年度の目標は柔道精神の「自他共栄」を上げました。嘉納師範の教え「厳しい修行のものに得た経験や行いを世の中に還元する。」という精力善用と自他共栄です。

嘉納師範は「善を目的として、団体生活の存続発展を助けるものは善とし、それを邪魔するものは悪である。それを相助相譲（そうじょそうじょう）お互いに助け、互いに譲る＝自他共栄によって達せられる」と説かれています。日本人には長く「武士道」道があり、国の人々を守り豊かにしていた武士が、時代の変化と主に「体育」として多くの人たちが学びやすく価値あるものに変えて、そしてそれを「日本体育協会」や「日本オリンピック委員会」へと発展させ、今もその精神が受け継がれています。

地区篠原一行ガバナーは、「奉仕の心を未来へつなげよう」を掲げ、未来へ希望を生み育てるとしてしています。未だ各地で大きな紛争が絶えませんが、人種や肌の色に違和感を持つことがあっても、これからの社会の在り方として受け入れ世界中がお互いを尊重し合える「自他共栄」を求めていかねばなりません。私は、皆さんの人生や考えを例会で学ぶことで自分を高め、地域や会社やクラブに生かしながら、平和で活力ある地域が栄えるような例会を開催していけるような修行に励み始めました。

今日は、先週と違う振る舞いができたのではないのでしょうか？

<幹事報告>

◎RI日本事務局より

・7月のロータリーレートについて 1ドル145円 (6月140円)

◎高山あすなる会より

・第48回飛騨児童・生徒木工工作コンクールご後援・賞状名義使用のお願い

期日 9月15日(金)~17日(日)

会場 高山市民文化会館3階講堂

<例会変更>

高山中央 … 8月7日(月)は、定款により 休会

8月14日(月)は、定款により 休会

8月21日(月)は、納涼ゆかた例会のため、
18:30~ 山陣 に 変更

美濃加茂 … 8月4日(金)は、IAC早朝合同清掃例会のため

7:00~ 前平公園 に 変更

8月11日(金)は、お盆のため 休会

<受贈誌>

米山記念奨学会(ハイライトよねやまvol280)

<出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
27名	-	27名	37名	77.14%

<本日のプログラム> ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第2630地区
濃飛グループガバナー補佐

山田 彰 様

皆様こんにちは！美濃加茂ロータリークラブから参りましたガバナー補佐の山田彰です。

昨年末よりガバナー補佐の役割、そして実務内容の研修に参加してきました。自分自身過去に出向経験がなく、この度ガバナー補佐を受ける事になり、知識の無さを痛感すると共に、只今多くの事を勉強中でございます。先ず第一にガバナー補佐の役割は、ガバナーとの連絡を密にし、ガバナーを補佐する。そして何より各クラブ活動を尊重し、少しでも円滑にクラブ活動がなされるようサポートすることです。この役職を全うするため、出来る限り各クラブに顔出しをしまして情報交換を取りたいと考えますので、会長幹事以下皆さま！よろしくお願ひ申し上げます。



例会報告

まず自己紹介をさせていただきます。私は26歳より美濃加茂青年会議所に入会し16年在籍しました後、すぐさま美濃加茂RCに入会させていただきました。かれこれロータリークラブに18年在籍しております。仕事以外に加入する団体では、ロータリークラブが一番長いことになっております。

加入のきっかけは、青年会議所在籍中の34歳の時、青少年育成委員会の常任理事を受け、サッカー選手であるラモス瑠偉選手をお呼びし、中高校生サッカースクールを開催しました。

この事業は委員会の熱い思いを形にしたくて、情熱だけで常任理事と理事会を押し通し、市や各方面の後援をいただき、美濃加茂高等学校にて開催いたしました。

委員全員でチラシ作成し、校長会に参加し配布依頼をしたり、ポスターは多くの企業様に企業協賛を受け、活動エリア内に500枚掲示していただきました。その結果、スクールへの申し込みは800名ほど受けまして、抽選で400名に絞りこみ開催しました。

実はこの事業は思い付きで始まりまして、事業予算は2万円！当時資金繰りで大変苦慮しました。美濃加茂ロータリークラブの理事会に委員長と私で伺いまして、熱い思いを聞いてくださり寄付のお願いを致しましたところ、加茂東RC・可茂RC・水曜クラブも含め、合計170万円もの支援をいただきました。スクール事業の3分の2相当の寄付を受け、この温かいご寄付に、委員長・副委員長と自然に涙が溢れた記憶がございます。

そして私は青年会議所卒業の際には、父が加入するライオンズクラブからの誘いはきっぱり断り、ロータリークラブに入会させていただきました。6年前にクラブ会長をさせていただき、美濃加茂ロータリークラブ創立50周年とIMを同日開催させていただきました。その節はお隣におられます米澤バスト会長率いる皆さまには、IMを美濃加茂RC記念式典と重ねて開催させていただき、多くの皆様に祝っていただきました。心から感謝申し上げます。

家族構成は家内と長女・長男の4人家族でして、長女は生命保険会社に勤務し名古屋栄支店にいます。長男は関西医科大学に現在在学中で授業以外クラブ活動に燃えております。

仕事は61年前に父が開業しました健康診断事業を行っております。私も40歳までは高山市内に1か月ほど連泊し、多くの高山市・飛騨市の企業様へ健診に赴いた記憶がございます。

この年齢になりますと、知人友人が脳梗塞・動脈硬化・心筋炎に罹患するようになり、多くが後遺症が残る生活をされる場面に多く出くわしております。私は「皆様の健康を守りたい」という思いで健診事業を行っているのに、都会でおこなわれているような“高度なドック設備”を整っていないことを理由に、今まで施設健診の充実に挑まなかったことを悔やみまして、昨年、岐阜県でトップレベルの健診センターを建設する！目標を立てまして、西濃運輸本社地内に清水建設設計施工にて、胃・大腸・婦人科専門機器を整えました。2022/11/24、大垣健診プラザを開業しました。次いで今年3月1日に、美濃加茂本部を内藤建築事務所にデザイン設計を依頼し、大日本土木に施工で本部をグランドオープンいたしました。

館内にはMRIやCTなどのDX化とICT化を進め、東京大学・順天堂大学研究開発のAIによる医師診断支援システムを整備し、遠隔画像診断を受けております。これらにより脳ドックを含めた全身ドック・レディースドックの実施可能な機関と致しました。

皆様！平日頃ご受診なされているドック機関はございますでしょうが、何だか興味を抱かれましたら美濃加茂まで足をお運びいただき、ご受診くださいますと嬉しいです。

さて、私は医療人ですのでコロナについて少しお話をさせていただきます。5月8日よりコロナ感染に関しまして「医療生活処置が2類相当」から季節性インフルエンザなどと同じ「5類相当」に移行され、2か月が経過致しました！日本のコロナ感染状況は5月中旬より全国5000病院からのコロナ情報を集計し国が公表するようになりましたので、公表される数値は、1週間に1医療機関にてコロナ感染の確認者数が平均値として公表されております。6/26-7/2の最新情報では、1週間の1医療機関あたり合計患者数は、岐阜県は8.46人、愛知県は9.16人、沖縄は48.39人と、地域限定はありますが第9波ともいえる感染拡大となっております。

昨日発表の最新情報では、岐阜県は8.8人となり、6週連続増加傾向と発表がありました。世界から観光の客人が多く来られる地域ですので、今一度感染防止の個の徹底を呼び掛けてください。よろしく願い申し上げます。

2630地区からのお願い

ガバナー月信7月号がお手元に届いておられるので、この7月号だけは必ず自分の目で確認ください。内容はRI会長からのメッセージ2頁-5頁 ウクライナへのロシア侵攻による紛争などから、皆さまも平和を今一度考え、まずは対話の必要性を発信されています。また、9年ほど前にRI会長の弟が鬱病から自殺をなされました。RI会長は人さまの前でこの事を込み上げてくる悲しさを抑えて話せるまでになりましたと、1月国際協議会にてRI会長が話されたそうです。そしてメンタルヘルスの重要性について本文内に記載がされています。

次に2630地区篠原一行ガバナーからのメッセージが6頁より地区活動方針7頁にメッセージが記載されております。高山西ロータリークラブ様にお願いしたいことは、

- ① クラブ活性化委員会に値する委員会で、クラブの将来像に向けての行動実施計画を立ててください！
- ② 40歳未満の会員を増強しましょう！
- ③ 女性会員の増強！女性比率8%以上にしましょう！
- ④ ポリオ根絶のための募金活動を対外的におこなってください。そしてポリオフォトコンテストにエントリーしてください。
- ⑤ クラブの存在、クラブ活動を外部へ積極的PR活動をして下さい。
- ⑥ マイロータリーへの登録50%・・・入会時には必ず登録を勧めてください！
- ⑦ ロータリーカード・・・決済額の0.3%が自動的にポリオ基金へ寄付
- ⑧ 昨年度も開催されました地区チャリティーゴルフコンペへの参加予選会を10/27 金曜日 美濃白川ゴルフ倶楽部にて開催予定です。各クラブ8名までの参加を要請します。各クラブグロス上位3名の対抗で、濃飛Gからの2クラブ本選出場決定します。本選は翌年！多治見の地で開催される予定とお聞きしております

本日は貴重なお時間を頂戴いたしまして、誠にありがとうございます。

例会報告

＜クラブアッセンブリー＞

クラブ管理運営部門長 大村 貴之

今年度 高山西RCのクラブ管理運営部門長を務めさせていただきます。基本方針を『各委員会の役割を理解し、クラブの効果的な運営のために活動する』として、委員会ごとに委員を所属させ、例会当番等の役割を明確にして責任をもって活動できるようにします。



会報・雑誌・広報委員会では、第一例会の雑誌紹介、広報活動、会報には『人間力』をテーマとして会員に順番で原稿を書いていますのでよろしくお願いします。

親睦委員会は、例会前のドアチェックを確実にし、3大親睦会の紅葉例会・新年家族例会・新緑例会を計画し実行していきます。

ニコニコ委員会は、相乗りテーマを継続しますが、個人投稿を増やしたいのでご協力をお願いします

出席・プログラム委員会は、下屋会長の方針でもある『例会出席100%の日を実現する』を目標に出席率の向上に努めます

以上、4委員会とともにクラブの効果的な運営のために全力で取り組んでまいりますので、1年間ご協力をよろしくお願いします。

会員増強部門長 堺 和信

部門方針は「継続的な勧誘活動と情報収集に努め、会員増強を図ると共に、会員の退会防止に努める」です。委員会としては、会員増強委員会、職業分類・選考委員会、ロータリー情報委員会で構成されます。



会員増強委員会の委員長は長瀬達三さんで、副委員長は杉山和宏さんです。職業分類・選考委員会の委員長は古橋直彦さんで、副委員長は平義孝さんです。ロータリー情報委員会の委員長は遠藤隆浩さんで、副委員長が私堺和信です。会員増強委員会の活動がこの部門の活動そのもので、新会員が入会しなければ、他の2つの委員会は活動ができません。

4月に、下屋会長、塚本幹事共に地区の会員増強研修セミナーに参加して来ました。そこで前年度会員増強に実績を上げられたクラブの活動事例を聞かせていただきましたが、多かったのはターゲットを縛り声掛けし、出来るだけ多くの人にオープン例会に参加していただくことでした。そのオープン例会も工夫されて、魅力のあるクラブであることを強調し、興味を持った方が入会されていました。しかし、最後に釧田パストガバナーが所感を述べられ、「私がガバナーのときも会員増強を目標に掲げたが大失敗をしました。人口減少と新型コロナの影響で、大きく会員が減少してしまいました。人口減少は、なかなか止められるものではなく、会委員増は非常に難しいのではないかと」言われていました。

その様な中でも本年度、下屋会長は純増4名を目標に掲げられています。下屋会長から極秘に何処かの青年部の卒業名簿も渡されていますし、他のクラブとの競合が激しい中、注目していない新たな視点からも勧誘をしていきたいと思えます。西ロータリークラブの存続のためにも、長瀬委員長と協力し何とか下屋会長が掲げる目標を達成したいと思いますので、皆様ご協力をお願いいたします

奉仕プロジェクト部門長 岡田 賛三
今期部門方針を「会長方針に則り議論を活発に行い、ロータリーらしい例会を目指す」とし、6名の優秀な委員長の皆さんと共に活動して参りますのでよろしくご協力の程お願いいたします。



ガバナー補佐 山田様 ご講評

100パーセント出席例会を目指すと言われていましたが、とても大事だと思います。私の所属する美濃加茂クラブでも、私が入った頃はあったんですが、もう15、6年間未達成という状況でございます。ロータリーではなく仕事の話になりますが、うちの会社でもコロナワクチン接種・PCR検査をやるという時に、いやだと言うスタッフもおりましたけれど、皆で方向性を共有してそちらに向かうんだと取り組みまして出来ました。それから今、会社としてモチベーションが上がっています。ですから、ひとつ目標として例えば100%出席例会をやると決めて、みんなでやってみようよ！と取り組んでそれを達成できた、という事例が出来るクラブのパワーに繋がるんじゃないかなと思います。是非取り組んでいただきたいと思えます。

＜ニコニコボックス＞

●濃飛グループガバナー補佐 山田 彰 様

皆様こんにちは。本年度ガバナー補佐を務めます山田彰です。本日も初のクラブ訪問で、少しでも皆様と親しくなれば幸いです。本日は宜しくお願い致します。

●下屋 勝比古さん、塚本 直人さん

アシスタントガバナー山田様ようこそお越し下さいました。今年度どうぞよろしくお願い申し上げます。名古屋場所が始まりました。連日好取組が続いています。土俵築に来てくれた節男も赤房下で仕事をしています。暑い夏、熱い名古屋です。

●岡田賛三さん

先日大相撲名古屋場所初日に同級生グループで行って来ました。下屋会長の御手配でとても楽しいひと時でした。ありがとうございました。

●米澤 久二さん

先週の例会でニコニコ表彰で多額の商品券を頂きありがとうございました。

垣内さん大村さん、1年かお疲れ様でした。今日から新年度、下屋会長 塚本幹事頑張ってください。垣内さん大村さん、ちょっと休んでカイト（たこ）のように上に昇る様邁進して下さい。

●堀 幸一郎さん

昨日、高山青年会議所の勉強会で講師として呼ばれてお話しして来ました。逆に高山の未来を担う二世の方々から明日への鋭気として「元気」を頂きました。有難うございました。

●内田 幸洋さん、挾土 貞吉さん、斎藤 章さん、古橋 直彦さん、井辺 一章さん、田中 武さん、遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん、鴻野 幸泰さん、大村 貴之さん、田邊 淳さん、杉山 和宏さん、中島 一成さん、佐藤 貴史さん

・山田ガバナー補佐のご来場を心より歓迎致します。一年間明るく元気な楽しいクラブを目指せる様、ご指導宜しくお願い致します。

・下屋丸、上々の滑り出し。荒波に向かって進め！進め！！

人間力を高める

第2回

【我が人生・天国と地獄】 夢あり

会報・雑誌・広報委員長 挾土 貞吉

14年前(68才)、身体に異常を感じ病院に駆け込み診察を受け、即入院した。その夜は点滴を受け、気は正常のままベッドに横たわり寝る。翌日朝目覚めると、左半身が麻痺で動かず、口が聞けない、口は横に曲り話が出来ずよだれが垂れる。歩く事も出来ず即MRIへ。診断の結果「脳出血」との事、【地獄】に落ちた。あのショックは今も忘れない。以後今日までリハビリ生活、情けない、はんちくたい。

しかし、これもよく考えれば身から出た錆であり、天罰かもしれない。当時の暮らしは、時代の流れ(背景)とはいえ、誰もが倫理無き利己主義で、「心の籠」の緩んだ罰当たりで贅沢な生活になっていたと思う。俺は今惨めな身体になり、歩く姿は恥ずかしい。それでも自分ながらよくここまで回復できたと思っている。それは、立派な主治医とリハビリ治療に係わってくださる方々、また我が妻や家族のお陰であり、心から感謝している。また、この回復力は、己を高め人間力を付ける「人生道場」である西RCにおいて41年間仲間と語り、37年間100%皆勤している我が気力と根性かと思う。加えて平成30年、皇居で天皇陛下から直接お言葉を頂戴している。正に我が身体に神が宿り、この世は【天国】だと思っている。俺は不思議なほど何事にも運がよく幸せで、我が人生悔いなし、感謝の一語に尽きる。有り難い事だ。

尚小生、太平洋戦争勃発の年に生まれ、敗戦後の食料難と物資の無い苦しい生活を体験し、その後アメリカに追いつけ追い越せとの国家目標号令の下、お天道様と共に夜明けから足元の見えぬ暗闇まで年中無休で国家国民と共に働き、日本国再建の一役を担った事、誇りに思っている。また一方、丹生川村から出て高山市で世帯を持ち、無駄使いせず無我夢中で働き、稼ぎ、会社を作り、飛騨匠山下棟梁の道家屋も建て、子供3人と末頼もしい可愛い孫達がいる。

またこの身体になる前は、親しき仲間と酒を飲み食べ楽しく遊んだ。今思えば学歴はないが、高度成長期の良き時代を過ごした幸せ人間である。数多くの建設業界や商工会、ロータリーメンバーとの海外研修旅行等に参加し、米国、カナダ、ヨーロッパ他、今戦争をしているロシアの赤の広場やサハリンにも行ってきている。

我が人生振り返り思うことは、中学時代秀才の良きライバルがいて、卒業間近に『学歴か実力か』で二人が論争し、その後社会に出てその男に負けまいと闘争心に燃え、職人根性で「一意専心」今日までこの道一筋、左官業界で職人魂を持って技を競い、心を磨き生き抜いてきた。しかしこの間、無知であるが故に世間で赤恥を多くかいてきた。半面、幼稚が故に人様に可愛がっていただき教えを賜り、楽しき世渡りが出来たのも事実である。

娑婆での付き合いと経営学においては、人様の話を聞き歴史本を読み学んだ。まず若かりし頃に読み心に残った本が、本田宗一郎の人生学、苦勞話であった。また経営の神様 松下幸之助や、ピーター・ドラッカー等の本を買いあさり、辞書を引きながら読んだ記憶がある。しかし正直なところ「積読」であり、内容は少しも頭に入らず全然解っていない。ただ最近読んだ稲森和夫氏の経営哲学本は、感動し今も心に残り尊敬している。

一昨年から月刊誌「致知」を購読し、出版本である二宮尊徳の「心を耕し、生を拓く」の一日一語他、修身、活学本を読み愉しんでいる。残り少ない余生と思うが、前にも述べた亡き「心の友」達に追いつこうと、体力作り、読書をし、夢を持ち密かに暮らしている。また、俺を産み育ててくれた明治生まれの両親の暮らしと二宮尊徳を重ね合わせ、我が人生に残された時間で、少しでも徳を積んであの世に行けたら幸せである。

加えて、趣味として愉しみ学んでいる「詩吟」、これまた我がボケ防止であり、今月30日に開催される日本吟道学院主催東海地区コンクールの出場に向けて挑戦する為、今練習励んでいる。尚、今年度西RC会長、下屋 勝比古さん(お医者さん)より、貴方の治療の為だと「ロータリーの友」を読むお役をいただきました。この身体に鞭打ち、迷惑を掛けながらも脳トレと思ひ頑張る覚悟です。

世は正にデジタル化、生成AIの新時代です。昔人間老いぼれ爺ですが、まだ気は若く何事もプラス思考、夢を持ち挑戦あるのみです。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

(次回記事は高井さんです)